

日本の開発協力の意義

国際社会は歴史的転換期。複合的危機（注）に直面。

（注）①気候変動や感染症等の地球規模課題の深刻化、②自由で開かれた国際秩序への挑戦と分断リスクの深刻化、③これらと連動した途上国の人道危機等

⇒複合危機を克服するためには、価値観の相違等乗り越えた国際社会の協力が必要。
日本はそれを牽引する立場であり、開発協力の役割は一層重要に。

👉 <開発協力は国際社会の平和と繁栄と日本の国益の双方の実現に貢献！>

◆平和で安定し、繁栄した国際社会の形成に一層積極的に貢献

◆日本と国民の平和と安全を確保し、経済成長を通じ更なる繁栄（国益）に貢献

日本から

日本へ

インフラ構築支援

連結性・サプライチェーンの強化 感染症対策・保健システムの強化

平和構築支援

人材育成・能力構築支援

海上法執行能力 法制度支援 感染症対策

SDGs達成への支援

地球規模課題への対処



👉 **大震災などでは助け合いが必要**

東日本大震災の後、世界の163か国・地域及び43国際機関から緊急支援の申し出、254の国・地域・国際機関からお見舞いが届きました。

日本にとって望ましい国際環境の能動的な創出

二国間関係の強化、シーレーン確保、日本の信頼向上、国連・国際機関選挙での支持

日本経済の安定・成長

エネルギー・資源・食料の供給・確保、日本企業の海外展開支援（投資環境・物流の改善）

在留邦人・日本企業の安全

👉 **日本だけ解決しても危機は終わらない**

☆感染症

☆気候変動

☆環境問題

